

2015年8月27日

報道資料

株式会社メディアグローバルリンクス

## IBC2015で、放送局内ネットワークのIP化を実現する IP ビデオルータシステムを展示します

現在、世界の放送業界は、次世代の超高精細映像である4K/8K放送の実用化に向けて進んでいます。日本では、2020年の東京オリンピックまでに8K超高精細映像の放送を計画しており、それを実現するために、放送局は各種設備の高度化を進めています。その中で4K/8K放送を効率的に行うためには、放送局内の制作ワークフローにおける映像伝送ネットワークのIP化が不可欠だと言われています。株式会社メディアグローバルリンクスは、放送局内ネットワークのIP化のカギとなるIPビデオルータを中心としたシステムを、9月11日~15日にオランダのアムステルダムで開催されるIBC2015の株式会社メディアグローバルリンクスのブースにて展示します。(Hall 1. C31)

今回の展示では、マルチメディアIP伝送装置MD8000が4K映像をIP化して伝送し、IPビデオルータMDXシリーズが効率的、安定的な切り替えを行います。また、新製品MD8600およびMDP3010により、IP信号のまま映像の圧縮/伸長を行います。さらに、それらを一元的にコントロールするアプリケーションソフトウェアが全体を制御することで、エンド・ツー・エンドのIPソリューションの実務運用を可能にします。

なお、IPビデオルータMDXシリーズおよびMDP3010には、NHKと株式会社メディアグローバルリンクスの共同開発に基づく技術が使われており、その一部はNHKと株式会社メディアグローバルリンクスにより共同で特許出願されています。

株式会社メディアグローバルリンクスは、まず日本国内の放送局へのIPビデオルータシステムの導入を進めながら、同時に海外の放送局への販売も拡大することを見込んでいます。

■本件についてのお問い合わせ先：  
株式会社メディアグローバルリンクス  
TEL 044-522-1830  
E-mail [ir@medialinks.co.jp](mailto:ir@medialinks.co.jp)